

水の恵みを未来へつなぎ、 地域と共に育つまちへ

水産業 × わんステで、
新しい地域の循環をつくる



地域の水産業を守り、育てる



アユやピワマスの養殖・繁殖を通じて、
地域の水産資源を守り、未来へつなぎます。

わんステで、いのちをつなぐ



保護犬の居場所づくりと、人とのふれあい
を通じて、いのちをつなぎます。

地域とともに、未来をつくる



教育・体験・交流の場として、地域の活性化
と次世代の育成に貢献します。



地域とともに考え、地域とともに育てていくプロジェクトです

水産業 × わんステを通じて、地域の未来を明るく元気にします。



水産環境実証・養殖・きのこ栽培ハウス

水質改善実証・モニタリング
環境学習・見学スペース
きのこ栽培ハウス（菌床しいたけ）



- ・既存2枡を活用した水産環境実証
- ・アユ繁殖・稚魚育成、ビワマス等の養殖・育成
- ・水質改善・モニタリング
- ・きのこ栽培ハウスは1棟のみ
- ・その他の主要設備は丸型水槽を複数配置
- ・地域雇用・福祉就労につながる作業機会

水を守る × 魚を育てる × きのこを育てる × 仕事をつくる

水産事業とわんステをつなぐ、食と交流の中心

ドッグカフェ・マスの食事ゾーン

水産事業とわんステをつなぐ、食と交流の中心



主な提供内容

犬を保護し、人と出会い、新しい家族へつなぐ場所

- ・ 保護犬施設・診療管理
- ・ 譲渡施設・面談スペース
- ・ ドッグラン（大型犬・小型犬エリア）
- ・ トレーニングエリア
- ・ ふれあいスペース
- ・ ボランティア活動・啓発活動



- ・ 保護犬の健康管理・診療サポート
- ・ 譲渡希望者との面談場所を確保
- ・ 大型犬・小型犬エリアを分離した安全なドッグラン
- ・ トレーニングやふれあい体験エリアを整備
- ・ ボランティア活動や啓発イベントの拠点として活用

犬を守り、新しい家族との出会いをつくる

施設全体の運営と来訪者を支える玄関口



- 管理ハウス（受付・事務所）
- スタッフ管理・施設管理
- 駐車場（既存スペース活用）
- 資材置場・共用設備

管理ハウスの主な機能

- 小規模・平屋の管理ハウス
- 受付・事務所・来訪者案内
- 既存スペースを基本とした駐車場
- スタッフ・資材管理
- 各ゾーンとの連絡・安全管理

管理ハウスは必要最小限の規模とし、自然景観に配慮する

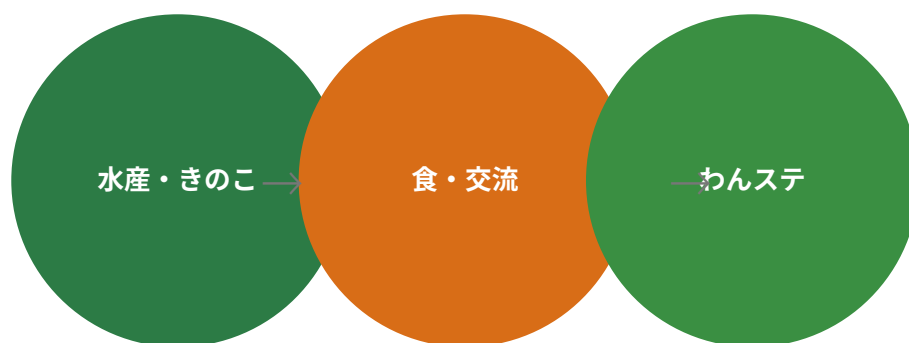
来訪者の体験を、4つのゾーンで一つの流れにします。



水産が犬を支え、犬が地域へ人を呼ぶ

水産施設を見る・学ぶことから始まり、ドッグカフェで食を楽しみ、わんステで保護犬にふれ、支援や地域とのつながりへ進む。施設全体を一つの体験として設計します。

水産事業の力を、保護犬活動と地域価値へ



水産・きのこ事業が収益と仕事を生み、ドッグカフェや食事が来訪者を増やし、わんステが社会的価値と新しい交流をつくる。相互に支え合う持続可能な地域モデルを目指します。

施設が地域に新しい人の流れを生みます



- 地域飲食・宿泊・観光の活性化
- 地域水産物・農産物・地域産品の消費拡大
- 雇用創出・地域雇用の拡大
- 環境教育・体験学習の場に
- 地域イベント・交流の拠点に



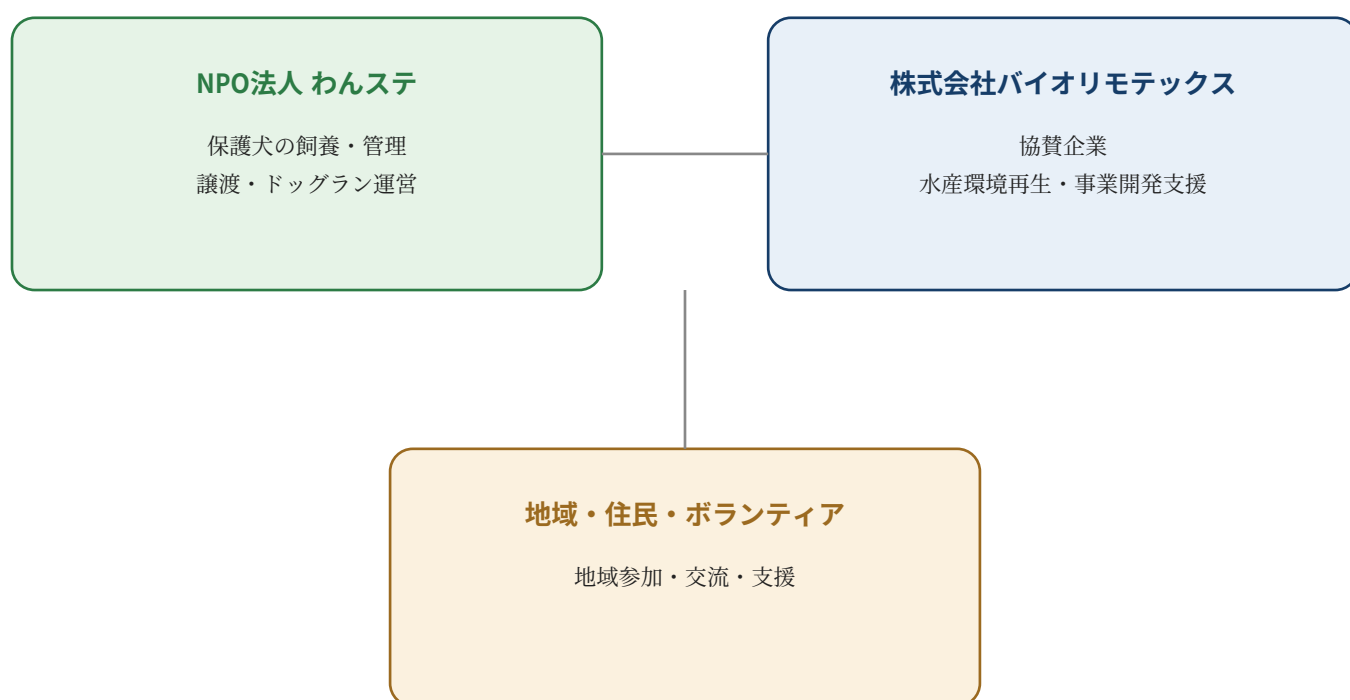
目的地になる施設が、地域全体を元気にします

地域の魅力をつなぎ、人が集まり、育ちあう持続可能なまちづくりを目指します。

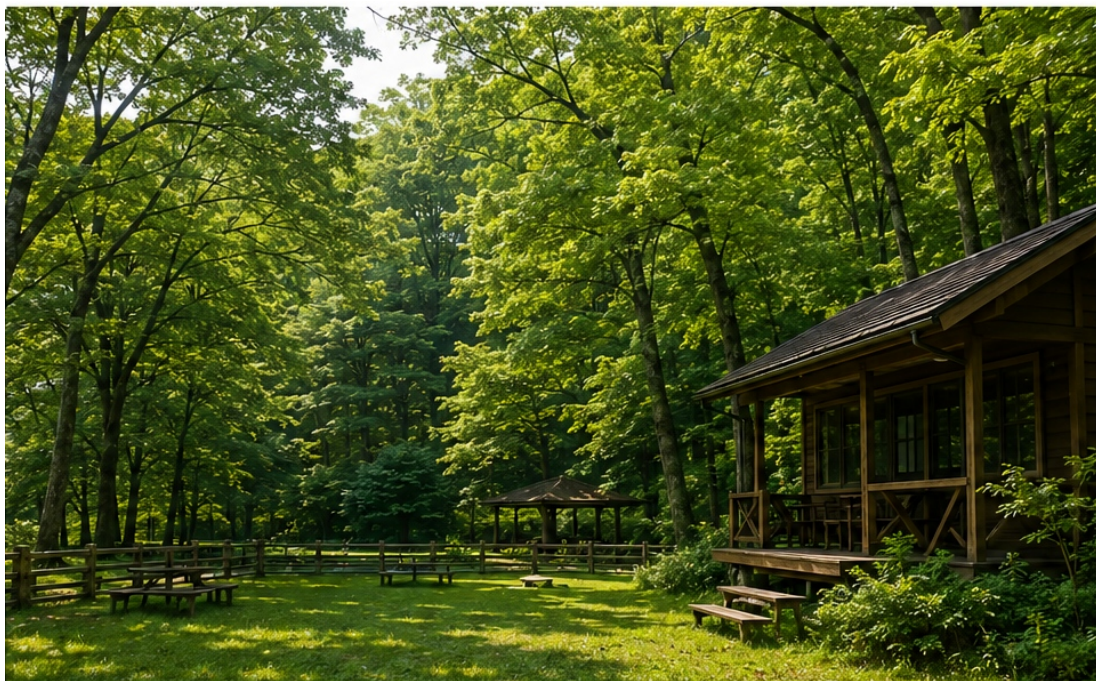
保護犬活動を寄付だけに依存せず、複数の収益と支援で支えます。



事業収益の一部を施設維持とわんステ保護活動へ還元し、社会的価値の向上が来訪者・協賛・地域連携をさらに増やす循環をつくります。



行政、水産関係者、漁協、地域住民、関係機関等との協議・連携を前提に進めます。水産・環境部門は、現地調査、小規模実証、第三者測定、行政確認を経て段階的に本格運用へ進みます。



マキノ町から、新しい地域共生モデルを

水を守る。 魚を育てる。 きのこを育てる。

犬の命を守る。 食を楽しむ。 人を呼ぶ。

地域を元気にする。

一つの場所で、一つの循環をつくる。

高島市マキノ町 水産環境再生 × わんステモデル

水産資源を育て、水環境を守り、地域の食と交流を生み出す。

保護犬の命を守り、新しい家族へつなぎ、人が集まる地域を目指します。

地域とともに考え、地域とともに育てていく。